

安心・安全な居場所づくりと 学力向上を目指して 東北町放課後子ども教室



絵本はとっても楽しいね！今日はどんなお話かな

青森県東北町は県内の東部に位置し、人口は二万人あまりで稲作、畑作、酪農、また、県内最大の湖へ小川原湖での漁業を中心とした緑豊かで自然に恵まれた町です。町内には小学校が七校、中学校が三校ありますが、全校に学校教育支援員を県内ではじめて配置し、障害をもつ子どもや、学習の定着化への支援を行っています。

今回「東北町放課後子どもプラン」を策定するにあたり、子どもたちの安全・安心な居場所づくりはもちろんのこと、「学力向上」に向けて具体的な取組はできないかと考えました。そこで、「放課後子ども教室」を子どもたちがスポーツや文化活動、地域の方々との交流活動の場とするとともに、学ぶ意欲のある子どもたちに学習の機会を提供することを事業計画の大きな柱としてとらえ、進めていくこととしました。

また、本年度は、児童クラブを学校施設内で実施している二校（小学一年生～三年生の七〇％が在籍）において、児童クラブと連携して実施することとしました。

事業開始に向け、町内全小学校の校長、PTA会長、町内会長等、関係する方々を中心に運営委員会を発足させ、実施に向けての意見交換を行い、協力体制を築いていくことを確認。平成一九年度は年度途中からの取組ということもあり、小学校の余裕

ドリバイザーが連携し、子どもたちのさまざまな活動への支援を行っています。

⑤ 活動内容

平日・学習・自由な遊び・読み聞かせ
土曜日・長期休業期間中・学習・自由な遊びのほか、さまざまな体験活動を行います。

○地域の施設での体験学習

○クリスマス会等の季節の行事

○自然観察 ○科学あそび ○工作

○パネルシアター・エプロンシアター等

⑥ 学校との協力体制

子ども教室の活動で中心となる「学習」を提供する取組の充実を図るために、学校、特に担任との連携は欠かせません。学習アドバイザーが授業の様子を見学し、子どもたちの学習の様子を把握します。

個々に応じた適切な援助ができるように、先生方から指導方法を学び、子ども教室での学習支援に生かせるようにと考えています。

⑦ 学習の実態

子どもたちは「ただいま」と学校から帰ってくると、まず宿題を始めます。宿題がない場合は、学習アドバイザーが作成したプリントの問題に取り組みます。強制ではありませんが、丸をつけてもらったりへがんばったね!!」のシールやハンコを押し



今日はドリルのお勉強。「たいへんよくできました」のシールをもらえるかな？

教室を活用して開設している甲地小学校児童クラブと千曳小学校児童クラブに子ども教室を併設し、九月より試行が開始されました。

「東北町子ども教室」の概要

① 活動場所

小学校の余裕教室を活用している児童クラブ室を利用して活動しています。子どもたちが自由に遊ぶ空間と勉強する空間に分け、集中して学習に取り組めるような環境

みに、「プリントください」と進んで学習に取り組もうとする姿が見られ、目当てをもちことで、子どもたちのやる気も違ってくるようです。

また、町の読書活動の推進を受けて、毎日、読み聞かせの時間を設けていますが、「今日は何の本を読むの？」と楽しみに待つ様子が見られます。じつじつと読書する姿も多く見られるようになってきました。

次年度の課題

今年度は試行ということで、二か所のみの実施となりましたが、二〇年度は全小学校で小学校の施設を活用して開設されます。また、対象も留守家庭の児童のみではなく、希望する一～三年生全員が利用することとなります。

対象人数が増えても、一人ひとりにていねいな対応ができるよう、物的・人的環境をしっかりと整えていくことの必要性を感じています。職員どうしの連携はもろろのこと、学校や地域の方々と協力しあいながら、子どもたちが安心して楽しく過ごせ、さまざまな体験や学習をおして成長していける「場」をつくらせていきたいと考えています。

（ちびき放課後子ども教室学習アドバイザー 田中美奈子）